

令和元年度 墨田区立菊川幼稚園 経営報告書

令和2年3月17日

幼稚園目標	○元気な子 ○自分で考える子 ○仲良く遊べる子
目指す幼稚園像	<p>人権尊重の精神に基づき、心身ともに健康で豊かな心情をもち、主体的に生活する幼児の育成を目指し、小学校就学前に必要なたくましく生きていく力の基礎を培う幼稚園づくりを進めます。</p> <p>幼児にとって ○明日が楽しみになる幼稚園 ○一人一人が力を発揮できる幼稚園 ○心と心がつながる幼稚園</p> <p>保護者にとって ○通わせてよかったと思える幼稚園 ○幼児を中心に保護者同士が学び合える幼稚園 ○安全で安心できる幼稚園</p> <p>地域の方にとって ○誇りに思える幼稚園 ○幼児が素直で明るい幼稚園 ○地域の教育力が生かされる幼稚園</p> <p>教職員にとって ○使命感とやりがいがある幼稚園 ○創意・工夫を生かせる幼稚園 ○自ら学び、互いに高め合い、協働する楽しさを感じられる幼稚園</p>
目指す園児像	<p>○基本的な生活習慣や態度を身に付け、自立した生活を送ることができる子</p> <p>○個や集団での運動遊びを積極的に取り入れ、体を動かすことができる子</p> <p>○相手に対しての思いやりの心や一人一人の違いを認め合うことができる子</p> <p>○善悪の判断や自己抑制力を身に付け、自分で考えて行動できる子</p>
目指す教師像	<p>○専門職としての自覚をもち、謙虚に学び続ける教師</p> <p>○幼児・保護者とよい関係を築き、教師仲間と助け合う教師</p> <p>○メリハリある保育を同一歩調とする教師</p>

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
保育活動等	園は、子供の主体的な活動を促す教育の実施に努めているか。	A	幼児が自ら取り組みたくなるような環境や活動を工夫する。幼児の実態に合わせて、教材選択・指導法（導入、展開、振り返りなど）の改善に努める。	A	B
	園は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	朝会、保育後の振り返りの時間を活用して、個々の状況や保護者を含めた情報を共有し、全職員支援の方向を理解して支援を行っている。	A	A
	園は、子供の将来の自立に向けた保育活動・相談活動に取り組んでいるか。	B	園の方針を理解してもらいながら、個々の実態に応じて段階的な指導を行う。幼児や保護者の気持ちに寄り添い、いつでも相談を受け入れていることを伝えていく。	B	B
	園は、教員の指導力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	A	毎週行っている週案会議を活用し、幼児の実態や指導方法の改善などを具体的に協議し実践力をつけている。さらに幼保小中連携事業、区幼研、他園の公開保育への積極的な参加により、よい指導を学んでいく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	ほとんどの保護者から、幼児の主体的な活動を促す教育について肯定的に評価されていることから、一年間を通して安定的で充実した保育活動が展開されていることが分かった。教職員間の連携のよさを公開保育や保育参観から感じ、組織的に取り組んでいることが分かった。			

様式 3

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	園は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	B	職員会議、週案会議、保育の振り返り、保護者からの情報でトラブルの芽や気持ちの乱れなど幼児の状況を把握し、問題行動の未然防止と解決に努めていく。	B	B
	園は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	A	指導計画に基づき、個々の状況や発達の段階に応じて、生活習慣の自立や集団生活での行動、きまりが身に付くように指導している。引き続き、時間を守ること、挨拶、正しい言葉遣いを指導していく。教師自身が丁寧な言葉遣いと接遇を心掛け、すべての幼児に、自分が愛されている実感や自分も他の人も大切にしようとする気持ちを育てていく。	A	A
	園は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	A	毎月の安全指導、安全点検、避難訓練等を計画的に実施している。保育の場所が分散する際には、人員の配置と役割を確認し安全確保している。実際の事故や事件の報道があれば、随時環境や指導を見直して、安全管理を一層徹底していく。	A	A
	園は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、保育活動の点検や改善に役立っているか。	B	アンケートや日頃の対話により保護者の思いや願いを受けて、できることは即時対応する。幼稚園保護者アンケート結果をまとめ、フィードバックして次年度の教育計画に生かす。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	保護者からは、生活習慣や集団のきまりなどが日々の積み重ねにより身に付いている、友達と一緒に遊んだり生活したりする中で善悪の判断や自己抑制など必要な力が身に付いてきたと評価されている。保護者の登園時刻を守る意識が高まったことも大変よい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
園の管理運営	園は、管理職の経営方針のもとに、組織的な教育活動・園運営を行っているか。	A	園長の経営方針を、副園長、教職員が理解し、一体となって教育活動を進めている。引き続き管理職の進行管理の下、担当の園務に責任をもち計画・実施・評価・改善を行っている。	A	A
	園は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	園児の実態を個別、学級、園全体で把握し、年間、期毎、週毎の指導計画に基づいて、実施、評価していく。課題を明確にし、指導の改善を図っていく。	B	B
	園には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	A	今ある環境・設備の中で、教具や動線を適切に配置し、より充実した教育活動が行えるようにする。毎週末には保育環境を整え、幼児にとって魅力的な園環境であるよう努めていく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	園長の経営方針を基に、組織的な教育活動を行っているとは肯定的に評価されている。また、生き物とのふれあいや栽培、遠足、親子清掃、ラヴィーレ訪問など様々な特色ある行事があり、経験や体験が積み重なり成長につながっている。本園ならではのママのえほんやさん、E I G O ! ふれあい太鼓などもぜひ継続してほしい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域	園は、保育方針や日常の保育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	A	園だより、学級だより、保護者会、学級懇談会などで、幼児の姿を具体的に伝え、教育活動のねらいや内容を発信している。写真や画像の掲示やホームページを活用し、視覚情報で活動の様子やねらいを分かりやすく伝えていく。	B	A
	園は、保護者や地域の理解や協力を得て保育活動を進めているか。	A	休日実施の行事（運動会・バザー・公開保育など）は、必ず地域に知らせ、ねらいや活動内容を伝えて、理解と協力を得ている。引き続き保護者行事や地域行事にも、出来る限り参加と協力をしていく。	A	A

様式 3

連携	学校関係者評価委員会の意見等	ほとんどの保護者から毎月の園だより、月2回程度の学級だより、担任が作成した写真や画像の掲示などで、子どもたちの様子や育ちが分かり、幼稚園の教育を理解することができている。お知らせや参観行事からも、園の教育方針や目標がよく分る。近隣保育園、菊川小学校、堅川中学校、菊川太鼓、療養施設、祖父母など、様々な方との交流も子どもの成長を促すよい活動である。今後も様々な交流を進める中で、地域や人とのつながりを深めていってほしい。 新入園児が減少したと聞き、学校運営連絡協議会委員として地域にアピールしていくことも必要である。
----	----------------	--

2 令和元年度学校評価のまとめ

- ・令和元年度も、保護者及び学校運営連絡協議会委員の方から概ね肯定的な評価をいただいた。これからも保護者や地域の方々から愛され、理解と協力が得られるように努めていきたい。
- ・幼稚園教育要領に則って保育を展開してきた。今後も、自ら学び成長できる幼児の育成を目指し、環境や援助の在り方をより工夫、評価、改善し、保育内容の向上を図っていきたい。
- ・学校に併設し、公園に隣接している立地を生かし、幼児の安全を確保しつつ、体力づくりや豊かな心の育成に努めていく。
- ・特別な支援が必要な幼児、個別の指導が必要な幼児が増えている現状なので、外部関係諸機関から必要な情報の提供を受け、共有を行い、教職員が一体となって幼児の育ちを支えていく。
- ・例年のことだが保護者アンケートで「お子さんは、自分のことは自分でしようとしている。」の項目が最も低い評価だった。家庭で身に付けること、園で身に付けることを再考し、保護者と連携しながら具体的な方法を親子共に伝え、幼児が分かって取り組み「自分でやってみたらできた」という自己肯定感がもてるように、指導を工夫、改善していく。

以上の通り報告いたします。

墨田区立菊川幼稚園

園長

柿沼 広美

公印